

平成 31 年度事業報告

【法人運営】

1 理事会

開催日	議題
5月25日	定款変更（高坂の店舗の登記）が承認されました。 平成30年度事業報告及び決算が承認されました。 村松理事後任の石邨氏の理事が承認されました。 評議員会開催日が承認されました。 4月度5月度の理事長報告がありました。
6月15日	理事長及び業務執行理事が承認されました。
9月28日	就業規則改定案が提案され、一部再度審議となりました。 相談支援事業所の移転が承認されました。 6月度から9月度の理事長報告がありました。
翌3月14日	平成31年度補正予算（案）が承認されました。 令和2年度事業計画（案）当初予算（案）が承認されました。 就 業規則改定案が承認されました。 評議員会開催日時・審議内容が承認されました。

2 評議員会

開催日	議題
6月15日	定款変更（高坂の店舗の登記）が承認されました。 平成30年度事業報告及び決算期計算書類が承認されました。 社会福祉充実計画の見送りが承認されました。 次期理事及び監事選任が行われ、新役員が承認されました。
翌3月28日	平成31年度補正予算（案）の審議が行われ、承認されました。 令和2年度事業計画（案）及び度当初予算（案）の審議が行われ、 承認されました。

○監事監査…5月17日（金）平成30年度事業報告及び決算の監査が行われ、適正との報告が行われました。

【生活介護事業運営】

1 平成31年度を振り返って

年度内において、従たる事業所の活用が販売しかできなかった事は、次年度に課題を残しました。しかしながら、リサイクル品の販売を利用者工賃にカウントする事になった為、年度末に増額して利用者に支給できました。3月については、新型コロナウイルス感染症の拡散防止対策として、利用者の安全確保の観点から、梅まつりの2日目から参加を見送り、従たる事業所及び区役所販売を一時中止しました。

利用状況については、家庭の事情で6月に1名、精神障害の方が10月に1名、合計2名の退所者がありました。2年3月の中旬より養護学校の卒業生が2名新規の利用を開始しております。また、9月下旬より、ご家族の入院の為、やむなく事業所送迎にて対応する利用者が、週3日の利用から週5日に変更された事で、事業収入は、何とか保たれました。

職員の状況としては、有期職員1名が年度上半に入職し、正規職員が12月末に1名退職しました。

イベントでは、ふれあい一泊の旅を新たな場所で一斉に行い、あいにくの雨でしたが、参加者も目新しさに喜んでおりました。バス旅行は、バスガイド付きで、車内の雰囲気も明るく行えました。感謝祭については、福社区民のつどいの日程から休みなく開催となりました。新年会は、新成人が居ない事もあり、二部制でゆったりと食事を楽しみながら行えました。しかしながら、サンプラザシーズンズが終了となる為、次の場所を探していく必要があります。

昨年度より持ち越されていた強度行動障害について、支援専門員の派遣を依頼し、定期的に職員の意識向上と、実支援体制の構築を行いました。

2 開所状況 開所日数 258日 利用者延べ人数 6832人 平均利用者数 26.48人 稼働率 66%

3 利用者数の変遷 (平成31年度末時点) 32人

年度末	26	27	28	29	30	31
男	13	14	14	11	13	14
女	18	18	19	19	17	18
合計	31	32	33	30	30	32

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
男	2	6	2	3	1	0	0	14
女	2	5	2	6	2	0	1	18
合計	0	13	3	9	4	0	1	32

支援区分	3	4	5	6	合計
男	3	4	5	2	14
女	6	9	3	0	18
合計	13	10	6	1	32

平均支援区分 4

4 職員体制 (平成31年度末時点)

管理者	常勤・兼務	1名		
サービス管理責任者	常勤・兼務	1名		
生活支援員	常勤・専従	4名	有期・専従	3名
看護師			有期・専従	1名
事務員	常勤・専従	1名		
医師			嘱託医	1名

年度上半に有期1名入職、年末に常勤1名退職しました。

5 生産活動(自主製品作りの販売・下請け) 単位：円

内容	30年度	31年度
自主製品売上(クッキー、刺しゅう雑巾他)	1,472,080円	1,061,225円
下請け(輸入雑貨検品、バネ検品他)	528,723円	610,128円
リサイクル品販売		399,683円
合計	2,000,803円	2,071,036円

※<販売先> ・天白区役所(毎週水曜日 10時~12時)

・ドリームショップ大根店(毎週木曜日 10時~12時) その他各種イベント

	29年度	30年度	31年度
工賃(32名分)	1,608,210円	1,467,860円	1,655,030円
一人月平均	4,467円	4,077円	4,309円

6 職員研修

日付	研修名	参加者
7月4日～5日	東海地区知的障害関係施設職員研究協議会	水野 聡
7月22日	会計基礎研修Ⅰ（Bコース）	栢原 一慶
7月26日	タイムマネジメント研修	星野 未来
8月6日	精神障害研修	松波 滯
8月7日	食品表示講習会	鈴木 めぐみ
8月28日	虐待防止研修	栗田 ゆかり
9月2日	福祉専門職としての接遇研修	渥美 保尚
9月25日	困難事例研修	若林 健一 上滝 大輔
10月4日	強度行動障害研修	星野 未来
10月16日	精神障害研修	星野 未来
10月16日	防災研修	星野 未来
10月18日	会計基礎研修Ⅱ（Bコース）	栢原 一慶
10月21日	発達障害研修	松波 滯
12月5～6日	愛知地区知的障害関係施設職員研究協議会県大会	鈴木 めぐみ
2月12日	施設長・事務員研修	若林 健一 栢原 一慶

7 主な行事

月	内 容
4	徳林寺花祭り スポーツ大会の練習会
5	障害者スポーツ大会(陸上・フライングディスク) 事業所間フットベース交流会 防災訓練
7	風まつり ふれあい一泊の旅
8	夏期休業 あすなろ夏まつり
9	防災訓練 名フィル鑑賞会に参加 バス旅行(伊賀方面)…観光バス1台とハイエース1台を使い、家族も参加。ぶどう狩り
10	イエローレシートキャンペーンに参加(大高イオン) 県フットベース大会に参加 天白福社区民のつどい しぜんかん感謝祭
11	てふてふ感謝祭(地域交流)…ボランティア・家族会の皆様にブースの対応にあたって いただき、職員は利用者対応をメインに動きました。来場者が若干少なかつた 福祉と映画のつどい(手話コーラス) 障害者スポーツ大会(ボウリング)参加 桃山いきいきフェスティバル参加
12	忘年会 年末年始休業
1	島田神社へ初詣 イエローレシートキャンペーンに参加(大高イオン) 新年会・ボランティアさんに感謝する会…100名近い参加者
2	避難訓練 イエローレシートキャンペーン参加(大高イオン)
3	梅まつり 1日のみ参加(農業センター)

【共同生活援助運営】

1 31年度を振り返って

入居状況は、豊が丘に於いて、7月に1名退居、9月に体験を経て2名の入居がありました。その時点において、空所は1床でしたが、12月ご家庭の都合により9月入居の方の内1名退居となりました。年度末に2名の入居希望があり、入居に向けて進めております。藤が丘は引き続き満床です。

10月、新しく入居された方の歓迎会と怪我から回復した方の快気祝いを兼ねて、2居住合同で食事会を行いました。スポーツ大会、ふれあい一泊などバックアップ施設でふてふとの合同での行事も楽しまれていました。

11月末、職員1名の退職があり、職員の採用募集を行いました。

その中で藤が丘入居の一人の方が緊急性血小板減少紫斑病という難病指定の病にかかれ、通院等に同行してきました。原因は分かりませんが、今は安定した状態です。皮膚科、歯科など通院を重視し、支援を継続しています。

2 開所状況 平均稼働率（延べ利用日数月利用可能日数月定員）78%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計人
利用者数の変遷(定員16名)	14	14	14	14	13	15	15	15	15	14	14	14	
延べ利用日数	350	347	365	372	331	401	409	416	416	372	381	401	4561
利用可能日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366

<年齢>

10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計人
	5	1	7	1	0	14

3 職員体制

管理者(サービス管理責任者兼務)	常勤・兼務	1名		
生活支援員(世話人兼務)	常勤・兼務	3名		
世話人			非常勤	9名

4 職員研修

6月24・25日	新規採用者研修	加藤 隼
2月7日	時短メニューの作り方・介助食の研修会	上滝 好子 吉原まつい

5 夜間体制

夜間体制加算・・・常時電話対応、宿直対応は体験利用者に合わせて月1、2回行った。

【短期入所運営】

1 31年度を振り返って

8名の利用者が利用しています。

2 開所状況 稼働率（延べ利用日数月利用可能日数月定員）79%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計人
利用者数	5	4	4	5	5	4	3	4	3	4	4	4	
延べ利用日数	26	21	24	28	24	22	25	21	22	19	21	26	288
利用可能日数	30	31	31	31	31	30	30	30	31	31	29	31	366

【相談支援事業の経営】

1 一般相談支援(定着)事業

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
主な障害	知的	1	1	2	0	1	0
	精神	1	0	0	0	1	1
居住区	天白	1	1	2	0	2	1

定着相談支援は主に1年間を目安として行う支援という指摘を受け、天白区に一人暮らしの知的障害と及び発達障害、双極性障害を持った方(一般就労経験あり)の定着支援は7月に終了となり、精神障害の方も2月に終了しました。

2 特定相談支援事業

平成31年度新規相談件数 9件(合計121件:内 契約解除累計 45件)

主な障害		居住区		利用されるサービス(重複を含む)	
精神	9	天白区	9	生活介護	1
				居宅支援	6
				短期入所	1

3 職員体制 常勤1名

4 職員研修

毎月第3木曜日 天白区機関相談支援センターによる部会に参加

令和元年7月2日 スキルアップ研修～罪に問われた障がい者支援を考える～

5 課題

ご家庭に於いて介護されてきた親御さんの死去、ご高齢に伴い、障害をお持ちの方へのご家庭における介護ができなくなるという状況になった方への支援に直面しました。引き続き各区における緊急対応おも活用し、計画案を作成していきます。

強度行動障害の方への病院とのカンファレンス、基幹相談などとの関わりを通して、ご本人にとって安定した環境を目指して、計画を立てていくと同時にすでに関わって頂いている事業所に於いて踏ん張ってもらっています。

自閉症スペクトラム障害を持った方とのコミュニケーションが上手くいかず、支援に十分に入れない状況があり、特性の理解に努めていきます。

6 障害児相談支援事業 5件